

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

| | | | | | | | |
|-----|-------------|----|-------|-----|---|-------|-------|
| 教科 | 農業 | 科目 | 栽培と環境 | 単位数 | 2 | 学年・学科 | 2年・B科 |
| 教科書 | 栽培と環境(実教出版) | | 副教材 | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>○栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにします。</p> <p>○栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。</p> <p>○栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</p> |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 学習方法 | <p>○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。</p> <p>○グループワークや発表といった共同学習をとおして、学びあう活動を行います。</p> <p>○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。</p> |
|------|---|

| 学習評価 | 評価の観点 | 評価の観点の趣旨 | 学期 | 重み付け | 割合 | |
|------|---------------------|--|------|------|----|------|
| | | | | | 考査 | 考査以外 |
| 学習評価 | a 知識・技能 | 栽培植物のプロジェクト学習の過程における調査、観察、診断、実験などを通して、生育と環境要素との関係に関する知識と技術、栽培環境の管理と改善に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解している。 | 前期中間 | 40% | 15 | 25 |
| | | | 前期末 | 40% | 15 | 25 |
| | | | 後期中間 | 40% | 15 | 25 |
| | | | 後期末 | 40% | 15 | 25 |
| | b 思考・判断・表現 | 栽培植物の生育と環境要素の実験や診断を通して、栽培環境に関する課題を発見し、環境に配慮した栽培管理と法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養っている。 | 前期中間 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 前期末 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 後期中間 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 後期末 | 30% | 15 | 15 |
| | c 主体的に学習に取り組む態度(意欲) | 栽培と環境の学習を通して、環境に負荷をかけない栽培技術や、安全で安心できる栽培植物の生産や環境の保全を目指して、自分の意思や判断に基づき、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 | 前期中間 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 前期末 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 後期中間 | 30% | 15 | 15 |
| | | | 後期末 | 30% | 15 | 15 |

| 学期 | 単元名(題材) | 学習内容(小単元) | 評価の観点 | | | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|------|--------------------|--------------------|-------|---|---|---|--|
| | | | a | b | c | | |
| 前期中間 | 第1章栽培と環境 | 自然環境のなりたちについて学びます。 | ○ | | | a:作物を栽培する環境に関する基本的な知識を身につけ、自然環境と栽培環境の違いについて理解している。 b:栽培環境に適した作目や技術を選択するうえでの要素をまとめることができる。 c:栽培にかかわる環境の関係性に関する諸課題の解決を目指して思考を深める。 | ・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 |
| | | 栽培環境のなりたちについて学びます。 | ○ | ○ | | | |
| | 第3章 気象的要素 | 栽培環境と栽培技術について学びます。 | | ○ | | | |
| | | 気象と気候について学びます。 | ○ | | | | |
| | 第8章 栽培と環境の診断・実験の方法 | 気象と作物の生育について学びます。 | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | | | |
|------|-----------|--------------------|---|-----|--|--|
| 前期末 | 第4章 土壌的要素 | 土壌の役割について学びます。 | ○ | | a:土壌の役割と機能について理解している。 b:土のさまざまな機能から農地土壌として必要な特性をまとめることができる。 c:土壌中の窒素の動態について理解している。 | ・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 |
| | | 土壌の機能について学びます。 | ○ | | | |
| | | 土壌中の窒素の動態について学びます。 | | ○ | | |
| | | 土壌肥沃度の管理について学びます。 | | ○ | | |
| | | 土壌の管理と改良について学びます。 | ○ | | | |
| 後期中間 | 第5章 生物的要素 | 農地と生物群集について学びます。 | ○ | ○ | a:農地には作物以外にもさまざまな生物が生活していることを理解しているとともに、生物的要素とはなにか整理しまとめることができる。 b:害虫の生態を理解し、効果的な防除法を選択することができる。 c:病原体の種類について整理しまとめることで、関連づけた防除法を理解している。 | ・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 |
| | | 病虫害とその防除について学びます。 | ○ | | | |
| | | 作物病害とその防除について学びます。 | ○ | | | |
| | | 雑草害とその防除について学びます。 | ○ | | | |
| 後期末 | 第5章 生物的要素 | 鳥獣害とその防除について学びます。 | ○ | | a:地域で被害の多い鳥獣について調査し、地域の生態系を理解することができる。 b:農薬の用途や剤型に応じた分類を理解し、整理しまとめることができる。 c:生物的要素を理解し、持続可能な農業について自身の考えをまとめることができる。 | ・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 |
| | | 農薬とその防除について学びます。 | | ○ ○ | | |
| | | 総合的有害生物管理について学びます。 | | ○ | | |